

太田商工会議所管内景況調査報告書

(第 1 1 0 回)

2 0 2 4 年 4 月 ~ 6 月 期 実 績

2 0 2 4 年 7 月 ~ 9 月 期 見 通 し

太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町 3 - 6

TEL 0 2 7 6 (4 5) 2 1 2 1

FAX 0 2 7 6 (4 5) 1 0 8 8

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail info@staff.otacci.or.jp

太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項・・・・・・・・・・・・・・・・	1
調査目的や対象企業（業種）、回答率など	
（１）設問に対する業種別回答・・・・・・・・	2
9つの質問に対する業種別による回答状況	
（２）業種別D I 値について・・・・・・・・	5
6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント	
（３）全体D I 値について・・・・・・・・	8
全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移	
（４）比較資料編・・・・・・・・	9
同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較 （中小企業基盤整備機構、日本商工会議所L O B O調査、日銀短観）	

【調査要項】

1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 2024年6月
- ② 調査対象期間 今期（2024年4月～6月期）に対する前期（2024年1月～3月期）及び前年同期（2023年4月～6月期）との比較実績、並びに今後3ヶ月間の業況見通しについて調査。

3. 調査対象

当所会員事業所の業種を5つ（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業）に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて按分し、下記の通り調査を実施した。

4. 回答状況

	依頼数		回答数	回答率
全 体	270	→	225	83.3 (%)
輸送機器	40	→	36	90.0 (%)
その他製造	40	→	36	90.0 (%)
建設業	50	→	45	90.0 (%)
卸売業	30	→	21	70.0 (%)
小売業	40	→	34	85.0 (%)
サービス業	70	→	53	75.7 (%)

5. D I 値について

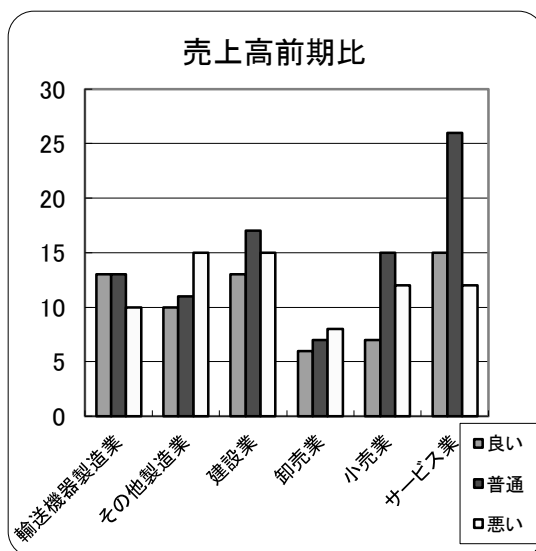
D I とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、良い（増加）と答えた企業の割合から、悪い（減少）と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

（例：ある設問において、「良い」と答えた企業…15% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、D I 値は▲10.0となる。）

(1)設問に対する業種別回答

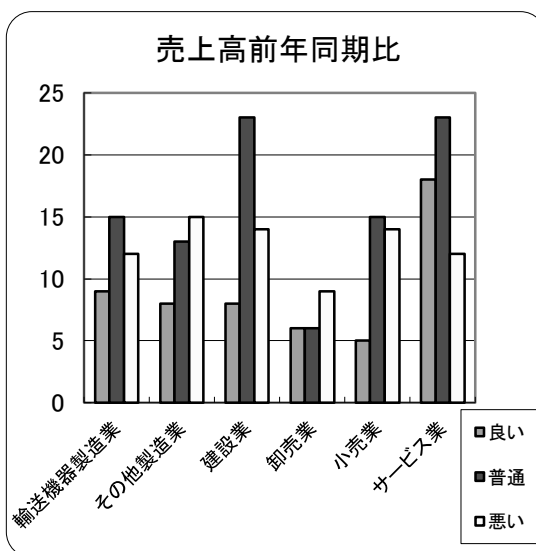
売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	13	13	10	36	8.3
その他製造業	10	11	15	36	▲ 13.9
建設業	13	17	15	45	▲ 4.4
卸売業	6	7	8	21	▲ 9.5
小売業	7	15	12	34	▲ 14.7
サービス業	15	26	12	53	5.7
合計	64	89	72	225	▲ 3.6



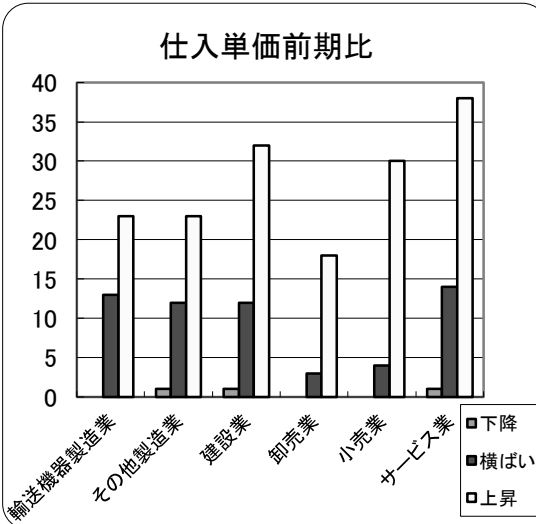
売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	9	15	12	36	▲ 8.3
その他製造業	8	13	15	36	▲ 19.5
建設業	8	23	14	45	▲ 13.3
卸売業	6	6	9	21	▲ 14.3
小売業	5	15	14	34	▲ 26.5
サービス業	18	23	12	53	11.3
合計	54	95	76	225	▲ 9.8



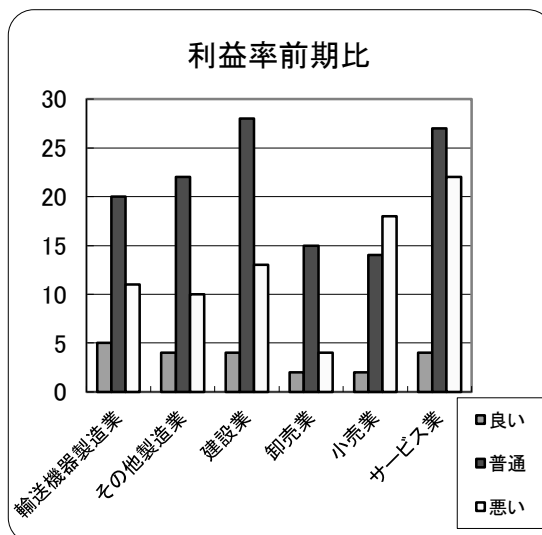
仕入単価前期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	0	13	23	36	▲ 63.9
その他製造業	1	12	23	36	▲ 61.1
建設業	1	12	32	45	▲ 68.9
卸売業	0	3	18	21	▲ 85.7
小売業	0	4	30	34	▲ 88.2
サービス業	1	14	38	53	▲ 69.8
合計	3	58	164	225	▲ 71.6



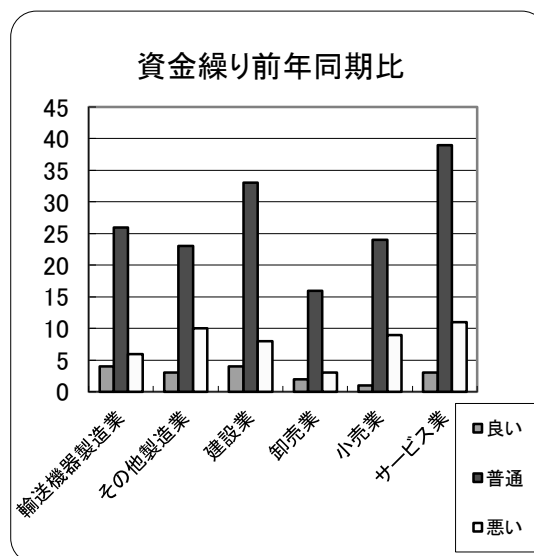
利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	5	20	11	36	▲ 16.7
その他製造業	4	22	10	36	▲ 16.7
建設業	4	28	13	45	▲ 20.0
卸売業	2	15	4	21	▲ 9.5
小売業	2	14	18	34	▲ 47.1
サービス業	4	27	22	53	▲ 34.0
合計	21	126	78	225	▲ 25.3



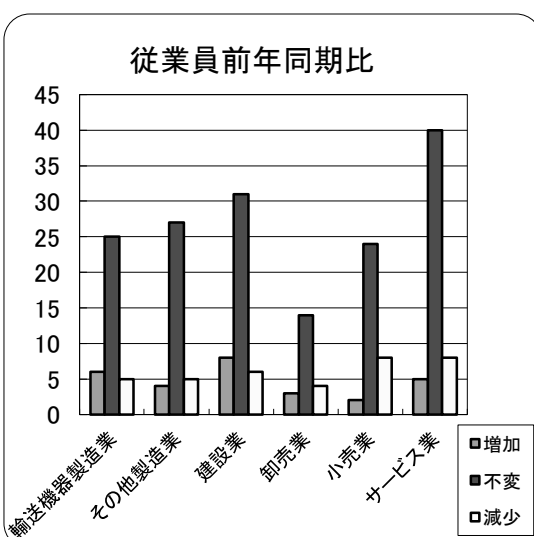
資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	4	26	6	36	▲ 5.6
その他製造業	3	23	10	36	▲ 19.5
建設業	4	33	8	45	▲ 8.9
卸売業	2	16	3	21	▲ 4.8
小売業	1	24	9	34	▲ 23.5
サービス業	3	39	11	53	▲ 15.1
合計	17	161	47	225	▲ 13.3



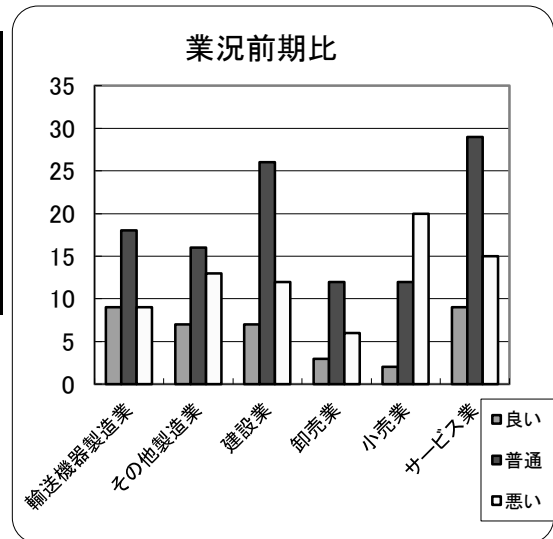
従業員前年同期比

	増加	不変	減少	合計	DI値
輸送機器製造業	6	25	5	36	2.8
その他製造業	4	27	5	36	▲ 2.8
建設業	8	31	6	45	4.5
卸売業	3	14	4	21	▲ 4.8
小売業	2	24	8	34	▲ 17.7
サービス業	5	40	8	53	▲ 5.7
合計	28	161	36	225	▲ 3.6



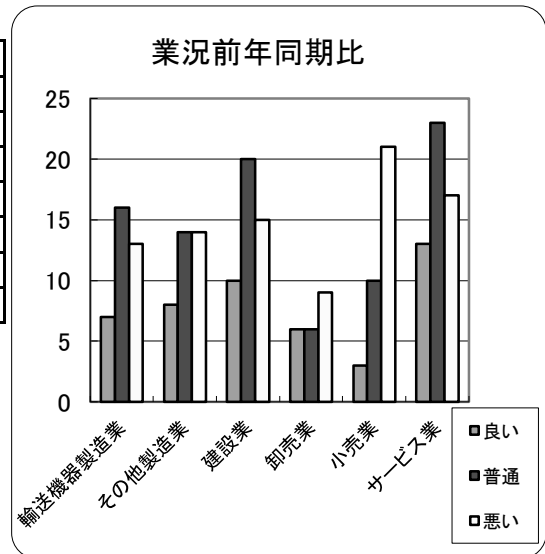
業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	9	18	9	36	0.0
その他製造業	7	16	13	36	▲ 16.7
建設業	7	26	12	45	▲ 11.1
卸売業	3	12	6	21	▲ 14.3
小売業	2	12	20	34	▲ 52.9
サービス業	9	29	15	53	▲ 11.3
合計	37	113	75	225	▲ 16.9



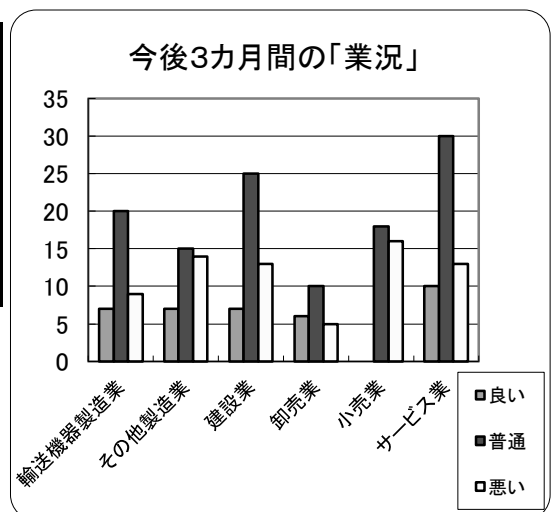
業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	7	16	13	36	▲ 16.7
その他製造業	8	14	14	36	▲ 16.7
建設業	10	20	15	45	▲ 11.1
卸売業	6	6	9	21	▲ 14.3
小売業	3	10	21	34	▲ 52.9
サービス業	13	23	17	53	▲ 7.6
合計	47	89	89	225	▲ 18.7



今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	7	20	9	36	▲ 5.6
その他製造業	7	15	14	36	▲ 19.5
建設業	7	25	13	45	▲ 13.3
卸売業	6	10	5	21	4.8
小売業	0	18	16	34	▲ 47.1
サービス業	10	30	13	53	▲ 5.7
合計	37	118	70	225	▲ 14.7



(2)業種別DI値について

輸送機器	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 28.1	8.3	36.4
売上高前年同期比	▲ 37.5	▲ 8.3	29.2
仕入単価前期比	▲ 40.6	▲ 63.9	▲ 23.3
利益率前期比	▲ 31.3	▲ 16.7	14.6
資金繰り前年同期比	▲ 40.6	▲ 5.6	35.0
従業員前年同期比	3.1	2.8	▲ 0.3
業況前期比	▲ 37.5	0.0	37.5
業況前年同期比	▲ 28.1	▲ 16.7	11.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 25.0	▲ 5.6	19.4

[企業コメントより]

- ・取引先の開発が遅れていて型の製作ができない【自動車用型製造】
- ・仕事の受注に波があり、2025年度の予定がなく心配である【金属部品加工】
- ・仕事量等はあるが、人手不足により生産体制に影響が多少ある。GW明けより生産数が多少鈍化傾向にある。各種経費(電気・ガス・ガソリン・人件費等)が利益をだいぶ圧迫している【金属パイプ部品製造】
- ・電気自動車の販売不振と最終メーカーのライン停止【自動車内装品製造】

その他製造業	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 12.5	▲ 13.9	▲ 1.4
売上高前年同期比	▲ 15.6	▲ 19.5	▲ 3.9
仕入単価前期比	▲ 62.5	▲ 61.1	1.4
利益率前期比	▲ 21.9	▲ 16.7	5.2
資金繰り前年同期比	▲ 12.5	▲ 19.5	▲ 7.0
従業員前年同期比	3.1	▲ 2.8	▲ 5.9
業況前期比	▲ 18.8	▲ 16.7	2.1
業況前年同期比	▲ 21.9	▲ 16.7	5.2
今後3ヶ月間の業況見通し	0.0	▲ 19.5	▲ 19.5

[企業コメントより]

- ・各アパレルが、暖冬のため昨年の冬物を大量に(売り)残した結果、春夏物の発注が少ない。例年、この時期は今秋冬物の発注の最盛期であるが、どのアパレルも(発注を)様子見で、6～7割位しか発注が来ない【ニット製品】
- ・今期は試作の手間が多かった【化学品】
- ・新製品の発売の遅れが要因【電気製品】
- ・得意先への値上げが一段落し、業況は回復してきたが、ここに来て為替要因(更なる円安)により今後の雲行きがあやしくなってきた。さらに電力費も大幅に値上げとなる(見込み)など、ほっとするのも束の間で、今後もう一段の値上げの必要性が生じる見込みである【食料品】
- ・自動車会社の不祥事もあり、今年6～7月に仕事依頼(が来る)予定だった事が進まないかもしれない。7月からアルミ材がまた値上げとなる。昨年からのコロナ融資の返済開始もあり、資金繰りは昨年より悪化していくばかり。経営の見直しをして、売上高と利益率を上げてどうにか乗り越えたい【プラスチック製品】

建設業	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	4.9	▲ 4.4	▲ 9.3
売上高前年同期比	▲ 7.3	▲ 13.3	▲ 6.0
仕入単価前期比	▲ 73.2	▲ 68.9	4.3
利益率前期比	▲ 14.6	▲ 20.0	▲ 5.4
資金繰り前年同期比	▲ 4.9	▲ 8.9	▲ 4.0
従業員前年同期比	12.2	4.5	▲ 7.7
業況前期比	▲ 7.3	▲ 11.1	▲ 3.8
業況前年同期比	▲ 4.9	▲ 11.1	▲ 6.2
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 12.2	▲ 13.3	▲ 1.1

[企業コメントより]

・戸建て住宅の売上が伸びた【総合建設】

・国・県・市共に工事量が少ない。又、競争が激化している【土木工事】

・4～6月期において、弊社の業績は前年同期と比べて減少しています。ほとんど全ての仕入単価が値上がりしていますが、業績(受注?)減少の原因は明確ではありません。年度初めの様子見かもしれません。7～9月期には受注が盛り返す見込みです【建築付帯工事】

・北関東は現場が少ない【建築付帯工事】

卸売業	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 20.0	▲ 9.5	10.5
売上高前年同期比	▲ 5.0	▲ 14.3	▲ 9.3
仕入単価前期比	▲ 75.0	▲ 85.7	▲ 10.7
利益率前期比	▲ 30.0	▲ 9.5	20.5
資金繰り前年同期比	▲ 15.0	▲ 4.8	10.2
従業員前年同期比	0.0	▲ 4.8	▲ 4.8
業況前期比	▲ 25.0	▲ 14.3	10.7
業況前年同期比	▲ 20.0	▲ 14.3	5.7
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 25.0	4.8	29.8

[企業コメントより]

・当社の得意先では、材料不足と値上がりの影響もあり、(発注先からの材料)支給の比率が増えているようだ。3月以降、不振が続いている。案件情報も乏しく厳しい状況！【建設資材卸】

・人口の多い団塊の世代が後期高齢者に入り、市場が大きくなっていると予想される【医療介護用品卸】

・(売り上げ増は)太田市の各地(団地等?)開発に伴う企業流入と仕事量増加【資源再生】

小売業	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 28.0	▲ 14.7	13.3
売上高前年同期比	4.0	▲ 26.5	▲ 30.5
仕入単価前期比	▲ 88.0	▲ 88.2	▲ 0.2
利益率前期比	▲ 68.0	▲ 47.1	20.9
資金繰り前年同期比	▲ 16.0	▲ 23.5	▲ 7.5
従業員前年同期比	▲ 16.0	▲ 17.7	▲ 1.7
業況前期比	▲ 44.0	▲ 52.9	▲ 8.9
業況前年同期比	▲ 32.0	▲ 52.9	▲ 20.9
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 28.0	▲ 47.1	▲ 19.1

[企業コメントより]

- ・物価上昇により、当社(業界)をとりまく環境の変化が、今後(の業況を)大きく左右すると考えます。例としては①円安による輸入品の価格の圧迫、②多くの生産者の業務終了(廃業)が相次いでいる【生花】
- ・弊社、ショッピングセンター内テナントの小売業です。前年、前期はまだコロナの影響が残っており、それと比べると数字は回復しております。(しかし)売上の回復よりも、諸経費の増加、特に人材確保が喫緊の課題となっており、人件費の増加で利益を圧迫しています【化粧品・小物】
- ・コロナが5類になって(売り上げは)上向いていたのですが、今年4月頃から悪くなった。飲食店は平日悪く、週末はけっこう人出が多い【飲料販売】
- ・物価高騰で日本酒は買わない風潮が顕著である。春発売の限定酒が全く売れない【飲料販売】
- ・仕入れ単価が高い【生鮮食品】
- ・更なる仕入単価の上昇【米穀品】
- ・契約企業との(卸値の)条件が悪化。販売代金を変えることはできないので、利益は減ってくるが、必要として下さるお客様がいてくれるので、続けることができています【化粧品】
- ・今のところは順調に推移しているメイン商品の手巻きたばこだが、ドンキのオープンが気になるところだ。売場がどうなっているのか？落ち着いたころにしてみようと思う【嗜好品販売】

サービス業	前期(1~3月期)	今期(4~6月期)	比較増減
売上高前期比	3.9	5.7	1.8
売上高前年同期比	2.0	11.3	9.3
仕入単価前期比	▲ 74.5	▲ 69.8	4.7
利益率前期比	▲ 25.5	▲ 34.0	▲ 8.5
資金繰り前年同期比	▲ 19.6	▲ 15.1	4.5
従業員前年同期比	▲ 17.7	▲ 5.7	12.0
業況前期比	▲ 7.8	▲ 11.3	▲ 3.5
業況前年同期比	▲ 5.9	▲ 7.6	▲ 1.7
今後3ヶ月間の業況見通し	0.0	▲ 5.7	▲ 5.7

[企業コメントより]

- ・(業績好転は)営業体制の変更による【情報サービス】
- ・2024年2月、取引先工場内の労災事故の影響のため、2月、3月、4月は例年より悪化した【運輸】
- ・今の時代、不確定要因が多過ぎて将来の計画が立たない。過度な円安は地域の中小企業にとっていいはずがない【広告代理店】
- ・ここにきてもう一段、原材料・ガソリン等の値上がりにより経営状況が悪化している【食料品製造販売】
- ・売り上げは上昇していますが、内容はあまり良くありません。光熱費、原価率等、注視が必要と考えます【食事サービス】
- ・コロナ禍中の2022年や2023年の方が、現時点よりも良かった感が有る。コロナ禍中は物的に部品が入りづらい状況だったが、悪いなりに製造業では”造らなければ”という使命で製造をしていたと思う。現在は以前より部品が入りやすくなっているのにもかかわらず、各エンドメーカー(完成車メーカー?)等の不正などにより当局からの指導および自主規制により、開発を含めて抑えられている感が否めない。人手不足により思うように製造できていない事もある。人材確保とこれからの就労(形態)を基本から考えないと将来太刀打ちできなくなる可能性があるかも知れない【金属品回収】
- ・部品や材料が高いので仕事がやりづらい【自動車修理・整備】
- ・長引く円安や世界的な天候不順で食材の高騰が止まらず、大変困っている。売上金額は変わらずも、仕入原価が上がっている所以で利益率が悪い。テイクアウトがコロナ後もまだ順調ではあるが、容器代も上がっているの、イートインより更に利益率が悪く、くたびれもうけのような状態。(ただ現状では)今の我慢が先の利益に繋がると信じているので、儲からない仕事もなかなか切り離す勇気が出ない。耐えています【飲食店】
- ・夏に向けて美容やスタイルを気にする方が増えてきて売上げも増加傾向にあります【美容】
- ・ここにきて、物価高・燃料費高騰が業績に現れ厳しい。値上げ作業が苦難【飲食店】

(3) 全体DI値について

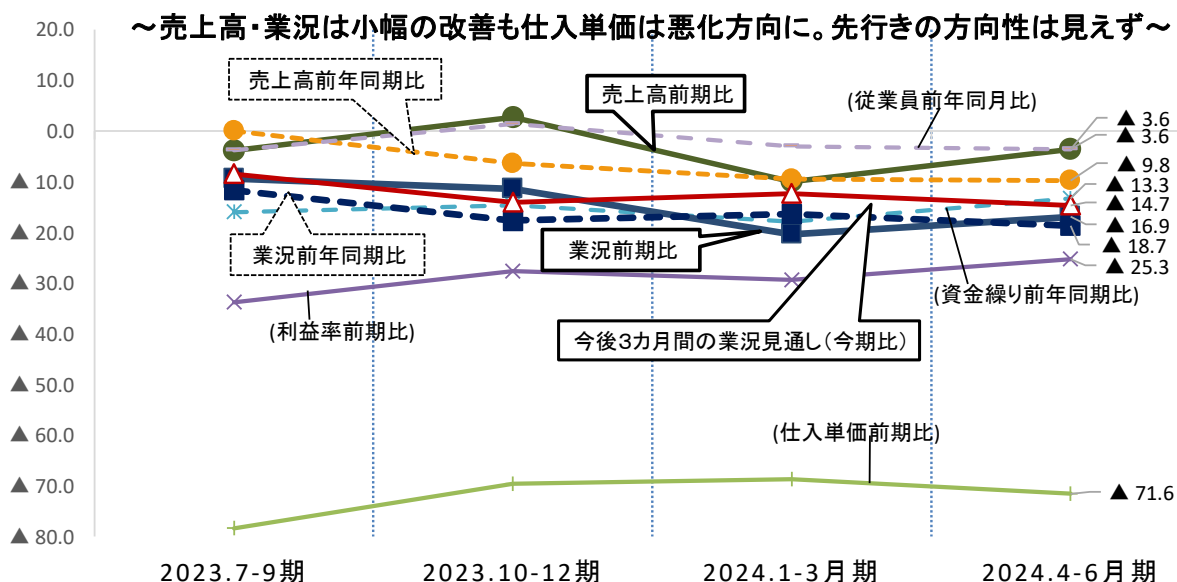
全 体 D I 値	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 10.0	▲ 3.6	6.4
売上高前年同期比	▲ 9.5	▲ 9.8	▲ 0.3
仕入単価前期比	▲ 68.7	▲ 71.6	▲ 2.9
利益率前期比	▲ 29.4	▲ 25.3	4.1
資金繰り前年同期比	▲ 17.9	▲ 13.3	4.6
従業員前年同期比	▲ 3.0	▲ 3.6	▲ 0.6
業況前期比	▲ 20.4	▲ 16.9	3.5
業況前年同期比	▲ 16.4	▲ 18.7	▲ 2.3
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 12.4	▲ 14.7	▲ 2.3

<動向について>

- ・4～6月期の業況前期比DIを全産業ベースでみると、3.5ポイント上昇と小幅に改善した。完成車メーカーの出荷が回復した輸送機器の37.5ポイント上昇が牽引している。
- ・全産業ベースでは売上高前期比DIが回復、利益率前期比もやや改善したが、仕入単価前期比DIは2.9ポイント悪化方向に転じた。コメントにも資材・人件費等の高騰を訴える声が依然多い。
- ・今後3か月間の業況見通しDIは全産業ベースで2.3ポイント低下。輸送機器と卸売業で改善を予想するが、他の業種では悪化を見込むなど、全体の方向性は未だ明らかなではない。

全 体 D I 値 の 推 移	2023.7-9期	2023.10-12期	2024.1-3月期	2024.4-6月期
売上高前期比	▲ 3.8	2.7	▲ 10.0	▲ 3.6
売上高前年同期比	0.0	▲ 6.4	▲ 9.5	▲ 9.8
仕入単価前期比	▲ 78.4	▲ 69.6	▲ 68.7	▲ 71.6
利益率前期比	▲ 33.8	▲ 27.7	▲ 29.4	▲ 25.3
資金繰り前年同期比	▲ 16.0	▲ 14.6	▲ 17.9	▲ 13.3
従業員前年同期比	▲ 3.8	1.4	▲ 3.0	▲ 3.6
業況前期比	▲ 9.4	▲ 11.4	▲ 20.4	▲ 16.9
業況前年同期比	▲ 11.7	▲ 17.7	▲ 16.4	▲ 18.7
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 8.5	▲ 14.1	▲ 12.4	▲ 14.7

全体DI値の推移



<グラフの見方>

※グラフの実線は前期(今期)比の系列、点線は前年同期比の系列、
マーカーは売上高を●、業況を■、見通しを△とした。

(4)比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、1～3月の平均値でDI値を算出)

①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 2.8	▲ 13.0	－	－
建設業	▲ 4.4	▲ 10.6	－	－
卸売業	▲ 9.5	▲ 2.4	－	－
小売業	▲ 14.7	▲ 16.8	－	－
サービス業	5.7	2.0	－	－
全 体	▲ 3.6	▲ 8.1	－	－

②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 13.9	－	▲ 5.5	1.5
建設業	▲ 13.3	－	▲ 10.6	
卸売業	▲ 14.3	－	▲ 0.3	
小売業	▲ 26.5	－	▲ 6.5	▲ 0.1
サービス業	11.3	－	11.3	
全 体	▲ 9.8	－	▲ 1.4	0.2

(↑ 非製造業という括り)

③仕入単価前期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 62.5	－	▲ 63.2	－
建設業	▲ 68.9	－	▲ 73.9	－
卸売業	▲ 85.7	－	▲ 66.1	－
小売業	▲ 88.2	－	▲ 72.5	－
サービス業	▲ 69.8	－	▲ 66.8	－
全 体	▲ 71.6	－	▲ 68.1	－

(仕入単価・前年同期比)

④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 16.7	▲ 22.8	▲ 16.4	▲ 6.4
建設業	▲ 20.0	▲ 23.0	▲ 18.4	
卸売業	▲ 9.5	▲ 16.6	▲ 17.5	
小売業	▲ 47.1	▲ 29.5	▲ 18.6	▲ 5.8
サービス業	▲ 34.0	▲ 19.9	▲ 7.6	
全 体	▲ 25.3	▲ 23.2	▲ 15.0	▲ 5.9

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比)

⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	▲ 12.5	▲ 13.2	▲ 12.6	8.0
建設業	▲ 8.9	▲ 6.9	▲ 7.1	
卸売業	▲ 4.8	▲ 9.0	▲ 8.8	
小売業	▲ 23.5	▲ 19.6	▲ 15.8	15.0
サービス業	▲ 15.1	▲ 9.7	▲ 9.0	
全 体	▲ 13.3	▲ 12.6	▲ 10.9	12.0

(前期比)

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	0.0	▲ 2.4	—	—
建設業	4.5	▲ 1.8	—	—
卸売業	▲ 4.8	▲ 1.6	—	—
小売業	▲ 17.7	▲ 3.5	—	—
サービス業	▲ 5.7	▲ 2.6	—	—
全 体	▲ 3.6	▲ 2.5	—	—

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 8.3	▲ 18.8	—	▲ 1.0
建設業	▲ 11.1	▲ 11.8	—	15.0
卸売業	▲ 14.3	▲ 12.4	—	8.0
小売業	▲ 52.9	▲ 25.0	—	6.0
サービス業	▲ 11.3	▲ 8.8	—	20.0
全 体	▲ 16.9	▲ 15.7	—	7.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）

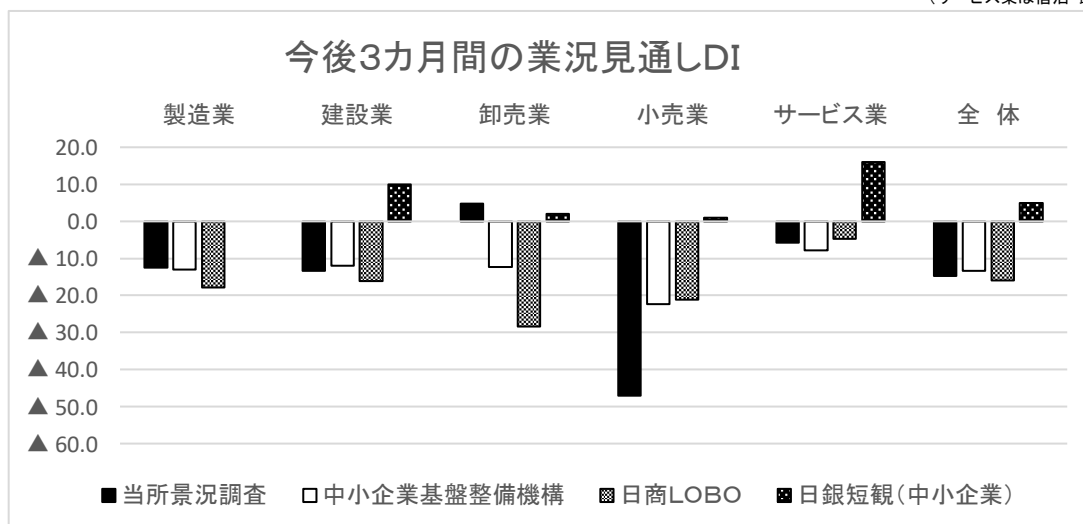
⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 16.7	—	▲ 17.6	—
建設業	▲ 11.1	—	▲ 17.2	—
卸売業	▲ 14.3	—	▲ 18.2	—
小売業	▲ 52.9	—	▲ 18.4	—
サービス業	▲ 7.6	—	▲ 3.1	—
全 体	▲ 18.7	—	▲ 13.9	—

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 12.5	▲ 13.1	▲ 17.8	0.0
建設業	▲ 13.3	▲ 11.9	▲ 16.2	10.0
卸売業	4.8	▲ 12.3	▲ 28.4	2.0
小売業	▲ 47.1	▲ 22.4	▲ 21.2	1.0
サービス業	▲ 5.7	▲ 7.8	▲ 4.8	16.0
全 体	▲ 14.7	▲ 13.3	▲ 16.0	5.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）



太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所

〒 373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <https://www.otacci.or.jp>

Mail info@staff.otacci.or.jp

2024年（令和6年）7月29日 発行